

令和3年6月17日

公立大学法人 都留文科大学

理事長 山下 誠 殿

監事

渡 辺 和 廣



監事

宮 本 和 之



監 査 報 告 書

地方独立行政法人法第13条第4項及び第34条第2項並びに公立大学法人都留文科大学監事監査規程第3条及び第5条第1項の規定に基づき、令和3年6月11日、公立大学法人都留文科大学の令和2年度における業務の執行について定期監査を実施したので、同規程第10条第1項により、その結果を下記のとおり報告いたします。

記

1. 監査方法の概要

都留文科大学において関係職員から業務の執行状況について報告を受け、提出された監査調書等により監査を実施しました。帳票その他証拠書類の原本及び現物の照合確認並びに担当者からの概況聴取・質疑応答などの方法により実施いたしました。

会計監査については、財務諸表(貸借対照表、損益計算書、合計残高試算表)などを確認するとともに、事業年度内の特徴ある取引については、関係書類・帳票等の提示を求め、関係部署の担当者から説明を聞くなどして会計内容を監査いたしました。

業務監査については、中期計画に掲げられている120項目に対応した年度計画170項目の進捗状況等の報告と質疑応答により業務内容を監査いたしました。

2. 監査結果の概要

業務の執行は、適正に行われていると認められる。年度計画の進捗についても、順調であると認められる。

3. 是正又は改善を要する事項

(1) 会計監査

① 経常費用と経常収益について

令和2年度の経常費用は31.4億円で、前年度の29.3億円から2.1億円増加している。一方、経常収益は、32.4億円で前年度の31.4億円から0.9億円増加しており、

その結果、経常利益は0.9億円で前年度の2.1億円から1.2億円減少している。収益率は低下しているが、特段の問題はないと考えられる。

② 業務費について

令和2年度の業務費は29.3億円で、前年度の27.4億円から1.9億円増加している。業務費の経常収益に対する比率は97.1%で、前年度の87.3%から上昇している。今後も、節約できるところは節約していくという姿勢を維持していただきたい。

③ 一般管理費について

令和2年度の一般管理費は2.1億円で、前年度の1.9億円から0.2億円増加している。一般管理費の経常収益に対する比率は6.5%で、前年度の6.0%から微増している。一般管理費についても、節約できるところは節約していくという姿勢を維持していただきたい。

④ 図書の除却について1

図書館と研究室を合わせて図書の除却費が38百万円計上されている。

「公立大学法人都留文科大学付属図書館資料の除籍及び処分に関する要領」によると、除籍した図書(資料)は、「売却」、「譲渡(無償)」、「廃棄」のいずれかにより処理するものとされているが、令和2年度の除籍分がどの方法でどの程度行われたのか、処分の方法をまとめた資料が確認できなかった。処分の方法を整理しておく必要がある。

⑤ 図書の除却について2

除籍した資料の一部は教員に「譲渡(無償)」されているとのことである。譲渡は「公立大学法人都留文科大学付属図書館資料の除籍及び処分に関する要領」に定められている処分方法の一つであるが、教員を譲渡先に含めることが適切なのか、譲渡のあり方を検討する必要がある。

⑥ 図書の管理について

除籍した図書のなかには、すでに大学で購入済みであったが、そのことが学内に周知されておらず、同種の書籍を購入し、不必要なものを除籍しているケースが存在している可能性もある。図書の購入に際しての管理の在り方について見直す余地はないか、検討する必要がある。

(2) 業務監査

① 第2期中期計画の最終年度であった令和2年度は、年度当初から通年で新型コロナウイルスの影響をうけ、そのことで事業等を全く実施できなかった項目もありましたが、全体としては同計画の進捗は概ね順調であったと評価できます。令和3年度は、原則対面授業になったということで良かった、と思います。ただ、コロナは、社会で既に起きていた変化を加速させ、オンライン、Webなどの活用がその最たるもので、今後も授業や会議等で利用されると思いますが、学生が不自由なくこれらがこなせるよう支援をお願い致します。

② 従来、紙ベースで行っていた新入生入学動機や在学生満足度の調査がコロナ禍でWebで実施されましたが、この方法は工夫次第で集計等が容易に行えるという利点もありますので、調査項目の再検討も含めて活用し、学生のニーズの把握につとめ、

入学志願者増にも利用されることを希望します。

- ③ 18歳人口の減少で入学志願者を増加させるのは厳しいことだとは思いますが、志願者数が年々減少していることが大変気になる点ではあります。オープンキャンパスや高校訪問等の効果的な実施を検討されて、大学の生き残りをかけて本学をアピールできる工夫をお願い致します。
- ④ 専攻科の問題については従前から指摘しておりますが、その有用性や魅力の周知につとめて存続ができますようお願いしております。
一方で、大学院にかかる項目が、コロナ禍にもかかわらず、各項目とも前年度より改善しており評価できると思います。
- ⑤ 学生の自学・自習スペースの利用について、図書館の休館や遠隔授業で学生が大学に来る機会が減少したため利用低下はやむをえなかったですが、対面授業が基本となった今は、有効かつ十分な感染防止対策をしたうえで、十分な利用ができるようお願い致します。
- ⑥ 就職率が数値目標を達成していることは評価します。就職にかかわることは大学の評判や評価にかかわる一面でもありますので、引き続き良い成績となりますようお願いしております。
- ⑦ 出版助成制度や科学研究助成金の活用が低調ですが、利用しやすい制度づくりを再検討して件数を増やす努力をお願い致します。それ以外の研究に関する項目は概ね目標を達成しており評価できます。
- ⑧ 経済的理由による中途退学や休学は少ないようですが、コロナ禍がさらに長引くことも十分に想定できますので、学生に対する経済的支援の取り組みを重ねてお願い致します。

以 上

